

追加議案質疑

平成21年度
一般会計補正予算(第6回)

どう取り組む?
新型インフルエンザ対策

(公明党西条市議団)
(日本共産党西条市議団)
(無党派)

問1

今回、補正予算額1千60万円が計上されているが、その内訳と、市において作成したガイドラインに基づき対応マニュアルと今後の予防策について問う。

答1

補正予算の内訳は、ポスター、チラシ関係、妊婦用の衛生対策キット、



消毒液による新型インフルエンザ対策

消毒液、マスク、体温計、加湿器、セミナー開催といったものを計上している。

市の対応は、本年8月24日に新型インフルエンザ対策本部会議を開催し、政府対策本部の基本的対処方針に基づく西条市新型インフルエンザ対策ガイドラインを策定し、市民の健康、安全・安心の確保に取り組んでいる。

予防策としては、ポスター、チラシの作成・配布、総合健診・1歳半・3歳児健診での啓発や、広報紙での新型インフルエンザ啓発記事の掲載をしている。また、イベント会場や公共施設には、消毒液などを設置している。

今後の対応は、市民健康講座や健康づくり推進員などの活動での啓発や、イベント等でのチラシの配布を予定している。

問2

新型インフルエンザの重症例には、ウイルス性肺炎より、細菌性肺炎や呼吸不全の例が多く見られており、二次感染である肺炎が直接的に命を脅かしている。ウイルス性肺炎等に効果がある肺炎球菌ワクチンを接種すれば、効果が5年間継続し、肺炎での死亡のリスクも減少することだが、このワクチン接種への公的助成について問う。

答2

肺炎球菌ワクチンは、新型インフルエンザワクチンとの併用により、肺炎での死亡リスクが8割程度減るとされている。

現在、国内ではワクチンが品切れ状態にあり、供給は本年10月中旬からとなっている。

ワクチン接種の公費助成については、国・県の対応を参考にしながら、今後の検討課題としている。

問3

患者数及びワクチン接種の優先順位の内訳と公費負担について問う。

答3

9月4日現在の発生件数は28名となっている。

本市のワクチンの優先接種対象者は、医療従事者約900名、妊婦約1千名、基礎疾患のあるかた約8千100名、小学校就学前児童4千200名、1歳未満乳児の両親1千896名、小・中・高校生1万4千447名、65歳以上の高齢者2

万9千510名の計5万9千773名、総人口の約51・9パーセントを占めている。

ワクチン接種については、国の基準が確定次第、季節性インフルエンザを考慮して検討していきたい。

7月臨時会

平成21年第7回7月臨時会は、7月27日に会期を1日間とし、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業などに要する経費を中心に計上された各会計補正予算案4件、条例案1件の計5件の議案が審議され、いずれも原案可決されました。

7月臨時会における議案等の審査結果

議案等番号	件名	結果
議案第78号	一般会計補正予算(第3回)について	原案可決
議案第79号	公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第80号	小松地域交流事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第81号	本谷温泉事業特別会計補正予算(第1回)について	"
議案第82号	特別職職員の給与に関する条例の特例に関する条例について	"

あなたも本会議を
傍聴してみませんか!

市役所本庁舎7階の本会議場傍聴席で本会議の様子を傍聴することができます。

ぜひ、ご利用ください。

議会の日程など詳細は、議会事務局までお尋ね下さい。



7階傍聴席から見た議場

来訪
西条

6月定例会閉会以降、次の市議会が行政視察のため、西条市を訪問しました。

◇7月22日・宮城県大崎市議会
・株式会社西条産業情報支援センター事業について